

「船舶動静広域監視・解析システム」が平成19年度 情報化月間推進会議議長表彰を受賞しました。

港湾研究部港湾計画研究室の「船舶動静広域監視・解析システム」が、平成19年度情報化月間の情報処理システム部門で選定され、去る10月1日、都内で開催された記念式典にて情報化月間推進会議議長から表彰されました。

記念式典には関係大臣(国土交通省からは松島みどり国土交通副大臣がご出席)が列席する中、望月常好国土技術政策総合研究所長に対し表彰状が授与されました。

今回表彰の対象となった「船舶動静広域監視・解析システム」は、船舶のAIS(Automatic Identification System:船舶自動認識装置)から発信される情報を複数の陸上受信局にて受信し、ロイズデータ等世界的なデータベースと統合処理することにより、船舶の動静(運航状況、停泊・錨泊・避泊状況等)を広域かつリアルタイムに監視するとともに、海域の効率的利用のためのデータ解析を実現したシステムです。また、情報の提供手段にインターネットを活用したことにより、アクセスフリー・コストフリーを実現しました。こうしたことから海上工事等の安全性・効率性の確保・向上に貢献したという評価をいただき、今回の受賞となりました。(企画調整課)



記念式典会場には数多くの方が詰め掛けました。



児玉幸治情報化月間推進会議議長(左)より表彰を受ける望月常好総研研所長(右)